

03_車両軌跡

ツールの呼び出し方

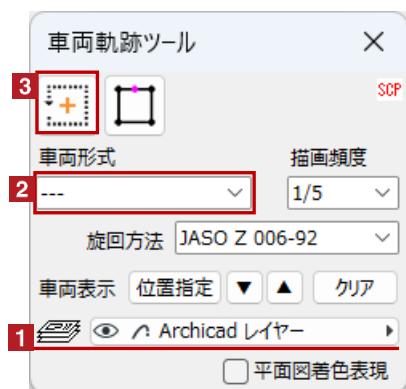
メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「車両軌跡」のアイコンを選択します



車両軌跡のアイコンを選択します

作成方法

各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックして軌跡を描画します



1 配置するレイヤーを選択します

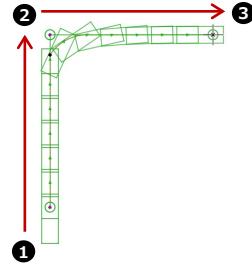
2 車両形式で任意の車両を選択します

3 をクリック後、車両の軌跡を描画します

< 2 で選択できる車両 >

- 2ton
- 2ton-L
- 2ton-LL
- 4ton
- 4ton-L
- 4ton-LL
- 8ton
- 8ton-L
- 8ton-LL
- 16ton
- ダンプ(2ton)
- ダンプ(4ton)
- ダンプ(10ton)
- トレーラ(標準床)(12m)
- トレーラ(標準床)(16.5m)
- トレーラ(低床)(16.5m)
- ユニック(2ton)
- ユニック(4ton)
- ユニック(10ton)
- カスタム

< 3 の車両軌跡描画方法 >





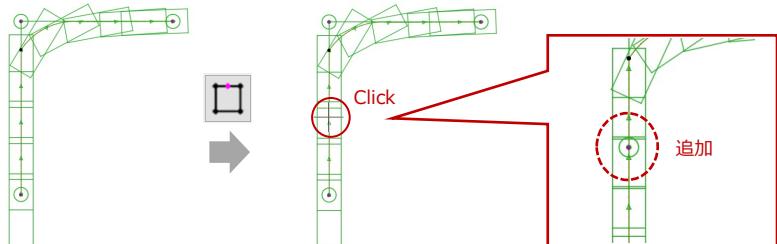
編集方法

作成した車両の軌跡や旋回方法を変更することができます

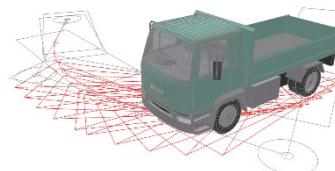


1 軌跡を増やしたいところに頂点を追加します

車両軌跡を選択



< 車両軌跡表示の例 >



※作図時に軌跡が赤色に表示された場合
最小回転半径を超えていたため
頂点位置を編集してください

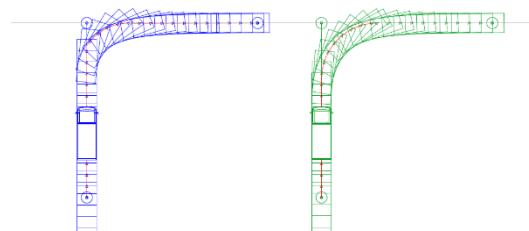
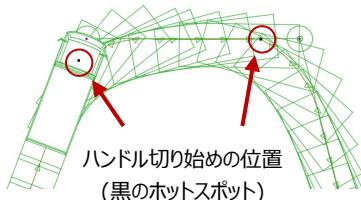
2 軌跡の描画頻度を選択します

1、1/2、1/5、1/10

1の場合 約500mm間隔で軌跡が表示されます

3 旋回方法の選択

車両軌跡ツールでは、JASO Z 006-92もしくはハンドル角0旋回を選択します



JASO Z 006-92

ハンドル角0旋回

※JASO Z 006-92は、ハンドル切り始めの位置でハンドルを全て切った状態で進み始めた車両軌跡です
※ハンドル角0旋回は、ハンドル切り始めの位置からハンドルを回しながら進み始めた車両軌跡です

4 位置指定をクリックした後に、車両軌跡上のクリックした位置で

車両形式で選択した車両が表示されます

※カスタム設定された車両の軌跡では車両表示の機能が使用できません

5 表示した車体を前後に動かします

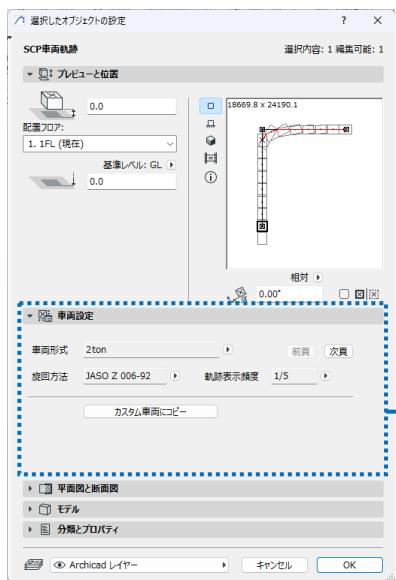
6 表示した車両を非表示にします

7 平面図での着色表示切替



オブジェクトの設定

配置した車両軌跡を選択し、「オブジェクトの設定画面 (Ctrl+T)」で各種設定を変更します



1 車両の設定

2 旋回方法の設定

3 軌跡表示頻度の切替

4 カスタム車両の設定

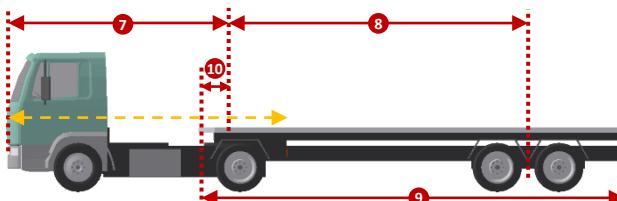
[カスタム車両にコピー]をクリックすると
車両の設定をカスタマイズして
より詳細な軌跡を設定することができます
必要に応じて変更ください

※カスタム設定された車両の軌跡では
車両表示の機能が使用できません

5 メーカーのカタログ等に記載されている
数値を参考に入力します

6 トレーラーの設定

カスタム車両をトレーラーで設定したい場合に
有効にしトレーラー部分の数値を入力します
※この場合の[全長]はトラクタ部分の長さを表し
ます (左図 ⇢ 部)



7 運転席の色設定

8 荷台の色設定

9 2D画面上の車両の描画色設定

10 ガイド線の表示/非表示

11 2D着色のON/OFF